

2026年5月13日

各位

会社名： ポラリス・ホールディングス株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 田口 洋平  
証券コード： 3010（東証スタンダード市場）  
問合せ先： 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏  
TEL： 03-5822-3010

**繰延税金資産の計上及び2026年3月期  
通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期において、税務上の繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上いたしました。また、当該繰延税金資産の計上額が2026年3月25日に公表しました見込み額から変動したこと等により、2026年3月期通期の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

過年度において、当社グループではコロナ禍の影響により税務上の繰越欠損金が発生していましたが、足元の業績回復及び今後の事業計画を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、税務上の繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上することといたしました。

なお、2026年3月25日に公表しました法人税等調整額の計上見込みにつきましては、日中関係の悪化、中東情勢の緊迫化及びそれに伴う経済動向の先行き不透明感等を踏まえ、保守的に算定しておりましたが、その後、改めて精査を行った結果、法人税等調整額を1,857百万円計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値の差異について

2026年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想値(A) 2026年3月25日発表	47,000	3,700	2,600	4,000	17.10
実績値(B)	48,469	4,042	2,896	4,596	19.66

増減額 (B)-(A)	1,469	342	296	596	2.55
増減率	3.1%	9.2%	11.4%	14.9%	—
〔参考〕 前期連結業績	27,881	2,804	1,893	2,611	16.90

### 3. 差異の理由

2026年3月期の業績は、2024年12月に実施した株式会社ミナシアとの経営統合の効果が寄与したことに加え、ホテルマーケットが堅調に推移したこと、新たに8ホテルの運営を開始したこと等により、前年同期と比較して増収増益となりました。また、日本政府観光局が公表している訪日外客数において2026年3月は3月単月で過去最高を更新、1月から3月の累計で2年連続1,000万人を突破する等、中国からの訪日客減少を補う形で中国以外の国・地域からの宿泊者が増加トレンドを維持したことから、当社グループ運営ホテル全体の稼働率及び平均客室単価（ADR）が堅調に推移した結果、前回3月25日に発表した上方修正予想値を上回る増収増益となりました。

また、親会社に帰属する当期純利益につきましては、近年の好調な業績を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、コロナ禍において発生した税務上の繰越欠損金を活用することで、2027年3月期以降の法人税等の削減効果が見込まれることを踏まえ、2026年3月期において繰延税金資産を4,785百万円計上いたしました。当該繰延税金資産の計上に伴い、法人税等調整額（益）1,856百万円を計上したことにより、当期純利益は税引前当期純利益を大きく上回る結果となりました。

#### （ご参考）のれん償却費控除前の業績予想と実績値の差異

2024年12月に株式会社ミナシアを子会社化したことに伴い、新株を発行したこと、並びに連結決算において年間約13億円の「のれん償却費」を計上していることから、当社ではグループ全体での実質的な会社の収益力を表すのれん償却費控除前の各利益・1株当たり当期純利益を重視しており、のれん償却費控除前の各数値は以下の通りです。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益（円）
前回発表予想値(A) 2026年3月25日発表	47,000	5,004	3,904	5,304	22.68
実績値 (B)	48,469	5,346	4,200	5,900	25.23
増減額 (B)-(A)	1,469	342	296	596	2.55

増減率	3.1%	6.8%	7.6%	11.2%	—
〔参考〕 前期連結業績	27,881	3,130	2,219	2,937	19.01

以上